

事業所名

どんぐり

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念		私たちは、障がいのある方ひとりひとりと真摯に向き合い、相談、支援の時間を共に過ごす中で、その人らしい人生を送ることができるように支援していきます											
支援方針		自立性・子ども一人ひとりに合わせて「自分で出来たよ!」を増やせるように支援していきます。 創造性・豊かな自然とふれあう事や様々な創作活動を通じ、想像力を豊かにできる支援をしていきます。 社会性・色々な体験などを通して地域の皆さんとの交流を図る事で社会性を養います。個性に気付き、個性を支え、個性を育み一緒に成長していく、そんな支援を目指します!											
営業時間		授業終了後	10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
本人支援	健康・生活	健康状態や学校やご家庭と連絡を取り合い、睡眠・食事・排せつ等の状況を把握して、顔色や服装、メンタル面等の小さなサインを見逃さないように観察を行う（検温等）また個々の発達段階や生活環境を把握して、飲食への配慮や清潔にすることの大切さ等の基本的な生活スキルの向上を目指していく。											
	運動・感覚	それぞれの持つ特性を把握し、出来ることから少しずつ挑戦していきながら、日常生活に困難をきたさないような対策を考え支援する。感覚の過敏、鈍麻に対する特性を踏まえ、楽しみながら体を動かしたり、指先を使った活動をしたり、五感や平衡感覚、固有感覚を意識した活動を行っていき、つまづきを理解して「できなかったことができるようになる」達成感を味わい、自信に繋げていけるように取り組む。											
	認知・行動	視覚でわかるように日にち、アナログ時計でスケジュールを掲示し、次の行動を事前に伝える。数量、大小、重さ、色等の習得のため、活動を通して楽しく学べるように支援する。こだわりや偏食に対して、原因を丁寧に探り、困難な部分を解消できるように工夫していく。											
	言語コミュニケーション	自分の思いを様々な手段（話す、文字カード、書字等）を用いて表出し、コミュニケーションを円滑にする。個々の特性に応じた読み書き向上のための支援を行う。必要に応じて誰とでも話すことができ、協力し合え、積極性を育めるように支援する。											
	人間関係社会性	グループ活動や集団遊びの時間を通して、順番に行う、ルールを守る、友達と協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につける機会を作る。友達との関わり方に関して、支援員が見本を見せたり、助言したりして、肯定的な関わりが増えるように支援する。											
家族支援		お子様の発達段階や特性の理解を面談等での情報共有。困り事があった時には管理者、児童発達支援管理責任者との相談援助を行う。				移行支援		必要に応じて、学校でお子様の様子を見学したり、学校の先生とお子様の様子や支援方針について、情報共有を行う。					
地域支援・地域連携		関係機関と必要に応じて連携を図りながら、自立に向けたサポートを行い、支援をしていく。				職員の質の向上		社内での研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新しい支援方法を学んだり、スタッフのミーティングで、子どもたちの様子、支援方法に関する情報を共有する。職員の外部研修への参加を奨励する。					
主な行事等		・季節に合わせた行事（進級、進学を祝う会、お花見、プール、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひな祭り等） ・誕生会（誕生日該当者がいる月） ・避難訓練（地震津波、火災、水害等 年2回以上） 長期休暇時の戶外活動											